

## 設立趣意書

- 日本社会は、大量生産・大量消費・大量廃棄型の拡大経済から、地球にやさしい環境に配慮した社会へと転換が進む時代に入りました。これは市民一人ひとりが環境保全に主体的な役割を持って行動し、作り上げていく社会であります。そのような社会を作るためには、企業や行政の大きな力が必要ですが、それ以上に大事なものは、一人ひとりが価値観を大きく変えて、社会で行動する事が重要だと考えます。
- 我々の環境保全に対する活動の多くは、会社を中心にした参加や貢献行動であり、企業をベースにおいた活動であったように思います。本来環境保全活動は企業の枠を超えた観点で取り組まねば、地域全体の向上にはつながりません。
- しかし、地域の企業それぞれが発展向上するために、例えば協会活動に参加して企業の枠を超えて力を結集してきましたが、多くの制約があり、今一つ大きな力となり得ない部分があったように考えられます。
- これらの課題を解決するためには、企業という枠組みの中での活動だけでなく、個人として主体的に考え、行動すること、すなわち、会社人間（会社中心行動）から脱却し、社会中心に考えをおいた個人活動（社会中心行動）が重要だと考えます。
- 一方、環境保全について豊富な経験と専門技術力を持つ人たちが、企業を卒業したOBの中に多くいます。社会のお役に立ちたいと考えている人たちです。また、現役の人たちもいつかはOBの仲間に入ります。
- これらOBの人たちの経験と技術力は、そのまま埋もれさせるのは、高齢化社会を迎えて社会としては大きな損失であります。
- OBには豊富な経験と技術力と自由度があります。企業等第一線の現役個人には情報収集力等があります。この二つを有機的に結集して、個人、個人が持つノウハウを提供して行動すれば、地域環境保全に大きく寄与することが出来、地域社会の発展に大きく貢献できるものと考えられます。
- 一人ひとりが楽しく生き甲斐を持って、社会のために役立つ環境保全活動を行っていきたいと考えますが、一人ひとりの力は限られています。しかし一人ひとりの持つ特徴あるノウハウを結集し、システム化すれば大きな力となることができます。
- 地域の発展のために、価値観を共有するこれらの人々が集う組織として、今回特定非営利活動法人 NPO 湖南環境 を設立するものです。

2000年2月18日